

第3回 外国人相談窓口担当者研修会

テーマ：自殺予防 ～相談員として何ができるのか～

日時：平成27年9月16日（水）13:30～16:30

会場：アスト津4階 会議室2

講師：NPO メンタルケア協議会 理事 西村由紀

主催：三重県

実施：（公財）三重県国際交流財団

参加者：20人

- 研修会の内容：**
- (1) こころの悩みを持つ相談者の特徴
 - (2) こころの悩みを持つ相談者の対応の工夫
 - ・相談員の心構え
 - ・相談の対応
 - ・聴く技術
 - ・ワークショップ

研修会の様子：

「自殺予防」をテーマとしたのは今回の第3回外国人相談窓口担当者研修会が初めてでした。当日は、20名が参加されました。講師が参加者に対し、自殺願望のある相談者を対応した経験があるかどうか問いかけたところ、約半分が経験あるとのことでした。しかし、参加者からは、「その時は、知識が全くなく、何と答えればよいのか分からなかった」、「聞くことしかできなかった」と発言がありました。

講師は、自殺を考えている相談者は、そうでない相談者よりデリケートである、聞き方に工夫が必要であり、話してくれるまでとても時間がかかることなどと説明をされました。また、相談者自身の気持ち不安定なため、相談員に対して怒ったり、相談中に泣いたり、突然笑ったりすることがあるため、相談員も心の準備が必要だと話されました。

聞き取り姿勢や方法がとても大切であるため、今回は、聞き取りのグループワーク（トレーニング）もたくさん行いました。参加者が相談員、相談者、観察役になり、それらの役をローテーションしながら全部の役を行いました。「このような実践的なトレーニングは、すごく難しいが参考になった」と参加者から感想をいただきました。

参加者のアンケート結果の意見：

- とても具体的に教えてくれたので面白かった。
- 実際に相談を受ける事が少ないがとても勉強になった。
- 受けてみたが（自分の所属機関に）相談員としての資料がないことが判明（それはそれでよかった）。
- とても楽しい研修会だった。相談される側は難しい。でもヒントを教えてもらえる研修会だった。

写真

西村さんによる講義



ワークショップ



相談聞き取りの練習

